

横地分類(改訂大島分類)

「移動機能」、「知的発達」、「特記事項」の3項目で分類し、以下のように表記する。
例：A1-C, B2, D2-U, B5-B, C4-D

〈知的発達〉					
E6	E5	E4	E3	E2	E1
D6	D5	D4	D3	D2	D1
C6	C5	C4	C3	C2	C1
B6	B5	B4	B3	B2	B1
A6	A5	A4	A3	A2	A1
簡単な計算可 簡単な文字・数字の理解可 簡単な色・数の理解可 簡単な言語理解可 言語理解不可					
〈特記事項〉 C: 有意な眼瞼運動なし B: 盲 D: 難聴 U: 両上肢機能全廃 TLS: 完全閉じ込め状態					
寝返り不可 寝返り可 座位保持可 室内移動可 室内歩行可 戸外歩行可 (移動機能)					

すばるの 日常生活紹介 眞鍋 仁美

は他の身体部位の運動機能を使って絵がかけるように介助して、その人の心の世界を、外に移す喜びを経験してもらいたいと考えています。

周囲の音にじっと耳を傾けています。
日常生活では『いろいろなちご』という本の語りかけをしました。はじめは目をキョロキョロとさせ声を探している様子がみられました。徐々に目の動きがゆっくりとなりいき、そのうちに目の動きが止まり真剣な表情になり語りかけに集中していきます。この本は擬音語がたくさん出てきます。「とろとろーん」「ぐるぐる、くるくる、ふるふるーん」という擬音語のところは目がより大きく開きしつかり

とした目つきになり注目している様子でした。「とろとろーん」「ふるふるーん」という伸ばす音がある言葉の響きに面白みを感じ、より聞きたいという気持ちになっていくようでした。

語りかけだけでなく響きのある楽器の音を集中してよく聞いています。グロッケンを1音1音ゆっくり低い音から順に鳴らしていきます。はじめは音を探る様にキョロキョロと目をよく動かしています。しかし4つ目の音あたりから目の動きがゆっくりになって動きが止まりじっと耳を澄ますように聞いていました。パチでグロッケンを叩いて出る音の響きがだんだん小さくなっていくのもじっとよく聞いていました。語りかけでも音の活動でも響きのある音を聞き面白みを感じていました。

職員が近くを通るとその動きを目で追います。絵本の語りかけでは大きな挿絵やくつきりとした色使いのページをよくみていることがあります。以前、スリットの入った円板状のものを2枚重ね、スリットから徐々に2枚目の違う色が出てくるという、色の変化をみる活動を行いました。



じっと真剣な表情で色が徐々に変わっていく様子を見ていて、徐々に色の面積が変化していく様子に面白みを感じているようでした。そこから、徐々に大きくなったり小さくなったり、大きさが変化していくものも楽しめると考えました。ゆっくりと大きくシャボン玉を作っていくと、ストローの先からだんだんとシャボン玉が大きくなっていく様子をじっと真剣な表情で集中して見ています。光の当たり具合で色が常に変わるシャボン玉は見ていて面白いようでした。繰り返しシャボン玉を膨らませていくと、膨らむ前からストローのほうをよく見えていました。だんだんと大きくなって見えるようになる予測と期待を感じているようでした。

だいちの 日常生活紹介 伊藤 紗輝

Aさん(横地分類A6)は、ページをめくっていく毎にカラフルな水玉模様が少しずつ大きくなっていく本を見せると、前のページとの大きさの変化を感じているようじっと集中した様子で見えています。

そこで、大きさの変化や色彩の変化が楽しめるようなタブレット端末のアプリを使った活動をしています。タブレット画面のバネの絵に触れると、ビヨーンと音を立てながらバネが画面の中いっばいに跳ねるものです。それまで椅子の背もたれにもたれかかり遠巻きに職員の様子を見ているようでしたが、職員がバネの絵に触れてバネが跳ねて動き出すと、前のめりの姿勢になってじっとよく見えています。バネの動きとともに聞こえてくる音に時折表情をゆるませていました。

他にも、画面の中の蛇口の絵に触れるとチョロチョロと音を立てながら水が出たり、もう一度触れると水が止まったりするアプリもしました。職員が蛇口の絵に触れて水が